

令和7年度 1 学年 技術・家庭科（家庭分野） 年間指導計画・評価計画

担当 [瀧澤乃彩]

教 科 の 目 標	指 導 ・ 評 価 の 重 点 お よ び 工 夫 点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。	・ ICT 機器教材や配付資料等を通して、視覚的・体感的に学べる授業を行い、基礎・基本の定着を図っていく。 ・ 作業が遅れがちな生徒には個別に対応する時間を確保したり支援員と協力するなどして取り組ませていく。	・ 家庭での実践、体験学習、調べ学習などを通して、学習の連続性をもたせる。 ・ ICT 機器を活用して他者との意見や考えを共有し、様々な視点から生活の中の技術について考察する。	・ タブレット PC を積極的に活用し、視覚的・体感的に学べる授業を行う。 ・ 目標を提示し、終末に振り返りシートを活用して目標の達成具合を確認する。	・ 個々の生徒の学習状況・能力に応じた目標の設定及び評価の工夫を行っていく。 ・ ワークシートや実習振り返りシートを活用し、生徒の学習状況の評価を適切に行う。

◎単元（1～数十時間の学習内容のまとめ）は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	単元・教材	ICT との 関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	A ガイダンス 自分の成長と家族・家庭生活	タブレット	1	○小学校家庭科の学習をふり振り返り、3年間の学習の見直しを持つことができる。	○家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。	○家族との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
5	B 衣食住の生活 食生活	プロジェクター	10	○自分の生活は、家庭内外の活動によって支えられていることを理解している。	○自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。	○自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
6	1 食事の役割と食習慣 食事の役割 健康によい食習慣	実物投影機		○生活の中で食事が果たす役割について資料をもとに理解している。	○自分の食習慣について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現している。	○よりよい食生活に向けて、自分の食生活について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
7	2 中学生に必要な栄養を満たす食事 中学生の発達と必要な栄養 栄養素と6つの基礎食品群			○健康によい食習慣について資料をもとに理解している。	○中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定している。	○中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
夏休	朝ごはんコンクール（食育）					
9	衣生活		10	○製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱いながら製作することができる。	○生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現している。	○よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
10	3. 生活を豊かにするものの製作					
11	食生活					
12	3. さまざまな食品とその選択 4. 日常食の調理 調理の計画 調理の基本 肉の調理					
1	5 地域の食文化 住生活 1 住まいのはたらきとこちよさ 住まいの空間		2	○地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	○食品の選択について問題を見いだして課題を設定している。	○和食の調理について、主体的に生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
2	2 安全な住まいで安心な暮らし 家庭内事故・災害への備え		6	○住居の基本的な機能や家族生活と住空間とのかかわりについて資料をもとに理解している。	○住生活について問題を見いだして課題を設定し、家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現している。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
3				○家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。		
評価材および評価方法				定期考査・授業プリント・作品・実習	定期考査・授業プリント・作品・実習	振り返りシート・授業の取り組み・作品・実習